



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月31日

上場会社名 三菱倉庫株式会社  
コード番号 9301 URL <https://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 秀親  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 西田 太郎  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-3278-6611

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	125,760	△18.5	9,920	△15.4	13,345	△17.1	9,462	△27.3
2023年3月期第2四半期	154,266	31.1	11,728	50.8	16,101	58.4	13,012	90.9

(注) 包括利益 : 2024年3月期第2四半期 35,259百万円( 316.9%) 2023年3月期第2四半期 8,457百万円(△44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 121.26	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	161.64	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 627,449	百万円 383,319	% 60.5
2023年3月期	573,689	354,432	61.1

(参考) 自己資本 : 2024年3月期第2四半期 379,364百万円 2023年3月期 350,797百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 41.00	円 銭 —	円 銭 49.00	円 銭 90.00
2024年3月期	—	50.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	△10.2	19,500	△15.3	25,500	△15.1	27,500	1.0	357.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	81,960,739株	2023年3月期	81,960,739株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	4,460,944株	2023年3月期	3,814,831株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	78,036,697株	2023年3月期2Q	80,502,752株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国で持ち直しの動きに足踏みがみられ、また欧州では足踏み状態にあるものの、米国では回復し、全体として景気は持ち直しました。また、わが国経済は、引き続き消費者物価の上昇による家計への影響が懸念されるものの、個人消費や設備投資が持ち直し、景気は緩やかに回復しました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、物流業界においては、引き続き海上運賃単価が前期比で下落しているほか、人件費やエネルギー等のコストの増加が続き、また、不動産業界においては、需給の緩みにより賃貸オフィスビルの空室率が上昇しました。

このような状況の下、当社グループは、経営計画[2022-2024]に沿ってDX等新手法も活用した営業活動を推進し、物流事業では、医薬品・自動車関連等の配送センター業務等の拡大、国際輸送貨物の取扱拡大等に努め、不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めました。他方、コスト上昇に見合う適正料金の收受やコスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、物流及び不動産の両事業で収入が減少したため、全体として前年同期比285億6百万円(18.5%)減の1,257億6千万円となりました。また営業原価は、物流及び不動産の両事業で減少したため、全体として前年同期比274億7百万円(20.0%)減の1,095億8千2百万円となり、販売費及び一般管理費は、人件費等の増加により、同7億9百万円(12.8%)増の62億5千6百万円となりました。

営業利益は、物流事業で減益となったため、不動産事業で増益となったものの、全体として前年同期比18億7百万円(15.4%)減の99億2千万円となり、経常利益は、受取配当金の減少や為替差損益の悪化により、同27億5千6百万円(17.1%)減の133億4千5百万円となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で固定資産処分益が減少したため、前年同期比35億4千9百万円(27.3%)減の94億6千2百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントごとの主要業務の営業収益

セグメント	営業収益(百万円)		前年同期比増減	
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	金額(百万円)	(%)
物流事業				
(倉庫事業)	31,229	32,773	1,544	4.9
(陸上運送事業)	25,837	25,336	△500	△1.9
(港湾運送事業)	11,924	12,010	85	0.7
(国際運送取扱事業)	63,131	34,888	△28,242	△44.7
(その他)	4,305	4,077	△228	△5.3
計	136,428	109,086	△27,341	△20.0
不動産事業				
(不動産賃貸事業)	15,087	15,589	502	3.3
(その他)	3,491	1,864	△1,627	△46.6
計	18,579	17,454	△1,124	△6.1
内部取引消去	△740	△781	△40	—
合計	154,266	125,760	△28,506	△18.5

## ① 物流事業

- ・倉庫事業は、自動車関連貨物、食品の取扱増加等により、営業収益は前年同期比4.9%増
- ・陸上運送事業は、貨物取扱減少により、同1.9%減
- ・港湾運送事業は、コンテナ貨物の取扱増加等により、同0.7%増
- ・国際運送取扱事業は、海上運賃単価の下落や貨物取扱量の減少に伴い、同44.7%減

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比273億4千1百万円(20.0%)減の1,090億8千6百万円となりました。また営業費用は、作業運送委託費が減少したため、前年同期比257億円(20.3%)減の1,011億5千1百万円となりました。このためセグメント利益(営業利益)は、前年同期比16億4千万円(17.1%)減の79億3千5百万円となりました。

② 不動産事業

- ・不動産賃貸事業は、稼働率の上昇により、営業収益は前年同期比3.3%増
- ・その他の営業収益は、マンション販売事業における販売物件の減少等により、同46.6%減

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比11億2千4百万円（6.1%）減の174億5千4百万円となりました。また営業費用は、不動産販売原価等が減少したため、前年同期比13億2百万円（9.6%）減の123億1千4百万円となりました。このためセグメント利益（営業利益）は、前年同期比1億7千7百万円（3.6%）増の51億4千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 第2四半期連結会計期間の資産・負債・純資産の状況

総資産は、大口出資に備えた新規借入により「現金及び預金」が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比537億6千万円増の6,274億4千9百万円となりました。

負債合計は、新規借入に伴い「借入金」が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比248億7千3百万円増の2,441億3千万円となりました。

純資産は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上に伴い「利益剰余金」が増加したほか、株式相場の上昇に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比288億8千6百万円増の3,833億1千9百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の自己資本比率は、前期末を0.6ポイント下回る60.5%となりました。

② 第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却による資金留保等により、178億4千8百万円の増加（前年同期は151億4千3百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

固定資産の取得による支出、投資有価証券の取得による支出等により、180億5千7百万円の減少（前年同期は208億1千5百万円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の取得による支出、配当金の支払等があったものの、借入金の増加もあり、100億4千8百万円の増加（前年同期は5億7千4百万円の減少）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（9億5千2百万円の増加）を加えた全体で107億9千2百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は730億9千万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① 通期連結業績予想の修正

当第2四半期累計期間の連結業績は、国際運送取扱事業における海上運賃単価下落の影響等により営業収益は期首予想（2023年4月28日公表の予想数値）を下回りましたが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は期首予想を上回りました。

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の連結業績、欧米で医薬品・ヘルスケア物流を提供するCavalier Logisticsグループの新規連結組入れ、ベトナムの物流企業In Do Trans Logistics Corporationの持分法適用等を踏まえて見直しを行いました。また、本日公表した「投資有価証券の売却についてのお知らせ」とおり、保有株式の一部売却を決議しましたが、投資有価証券売却益の計上見込額が期首予想額を上回る見込みとなったため、全体の通期連結業績予想を以下のとおり修正することといたしました。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回公表予想(A)	270,000	18,000	23,200	24,000	313.38
今回修正予想(B)	270,000	19,500	25,500	27,500	357.63
増減額(B-A)	—	1,500	2,300	3,500	—
増減率(%)	—	8.3	9.9	14.6	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	300,594	23,027	30,046	27,226	342.00

## ② 配当予想の修正（増配）

当社は、経営計画[2022-2024]において、株主還元を重要な経営課題の一つとして位置づけ一層の充実を図ることとし、配当は、企業業績や成長投資、資本効率とのバランスを勘案しながら、DOE（自己資本配当率）2%以上の安定的・継続的配当を行う方針であります。

当期（2024年3月期）の剰余金の配当につきましては、中間配当金及び期末配当金はそれぞれ1株につき50円、年間配当金は前期に比べ10円増額の1株につき100円を予定しておりました。

今般、上記のとおり、通期連結業績予想の増額修正を行うのに伴い、DOE2%以上の配当実施の観点、配当性向等を勘案し、当期の期末配当金を1株につき60円（前回予想に比べ10円増額）に修正することといたしました。この結果、年間配当金は、1株につき110円（DOE2.3%、配当性向30.8%）となる予定であります。

## 配当予想

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回公表予想	—	50円00銭	100円00銭
今回修正予想	—	60円00銭	110円00銭
当期実績	50円00銭	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	41円00銭	49円00銭	90円00銭

(注) 上記の業績予想及び配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	62,004	73,217
受取手形及び営業未収金	44,435	41,009
有価証券	2,000	2,000
販売用不動産	8,041	8,450
その他	7,894	8,165
貸倒引当金	△43	△41
流動資産合計	124,331	132,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	134,448	132,026
機械装置及び運搬具（純額）	4,996	4,745
土地	129,576	130,854
建設仮勘定	4,959	8,786
その他（純額）	7,971	9,086
有形固定資産合計	281,952	285,498
無形固定資産		
借地権	7,722	7,722
その他	4,877	4,837
無形固定資産合計	12,599	12,560
投資その他の資産		
投資有価証券	144,282	185,368
長期貸付金	172	169
繰延税金資産	2,956	2,952
その他	7,454	8,155
貸倒引当金	△39	△39
投資損失引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	154,806	196,587
固定資産合計	449,357	494,646
資産合計	573,689	627,449

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	24,844	22,945
短期借入金	40,313	58,067
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	6,931	2,941
その他	13,307	14,846
流動負債合計	90,396	103,801
固定負債		
社債	36,000	36,000
長期借入金	23,970	23,600
長期預り金	22,647	24,112
繰延税金負債	36,352	46,300
役員退職慰労引当金	66	44
退職給付に係る負債	8,414	8,389
その他	1,408	1,880
固定負債合計	128,859	140,329
負債合計	219,256	244,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,059	19,070
利益剰余金	252,759	258,391
自己株式	△12,289	△14,792
株主資本合計	281,923	285,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,749	87,186
為替換算調整勘定	4,235	7,249
退職給付に係る調整累計額	△111	△134
その他の包括利益累計額合計	68,873	94,301
非支配株主持分	3,635	3,954
純資産合計	354,432	383,319
負債純資産合計	573,689	627,449



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業収益</b>		
倉庫保管料	14,730	15,972
倉庫荷役料	10,400	10,470
陸上運送料	25,836	25,335
港湾荷役料	9,170	9,372
国際運送取扱料	62,954	34,810
不動産賃貸料	16,667	17,108
その他	14,506	12,689
<b>営業収益合計</b>	<b>154,266</b>	<b>125,760</b>
<b>営業原価</b>		
作業運送委託費	80,808	53,698
人件費	20,712	21,428
施設賃借費	5,327	5,440
減価償却費	7,543	7,514
その他	22,598	21,501
<b>営業原価合計</b>	<b>136,990</b>	<b>109,582</b>
<b>営業総利益</b>	<b>17,275</b>	<b>16,177</b>
販売費及び一般管理費	5,546	6,256
<b>営業利益</b>	<b>11,728</b>	<b>9,920</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	118	139
受取配当金	2,870	2,414
持分法による投資利益	791	605
その他	1,005	606
<b>営業外収益合計</b>	<b>4,786</b>	<b>3,765</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	247	280
その他	166	61
<b>営業外費用合計</b>	<b>414</b>	<b>341</b>
<b>経常利益</b>	<b>16,101</b>	<b>13,345</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産処分益	2,128	99
投資有価証券売却益	—	22
施設解約補償金	251	56
受取補償金	—	57
<b>特別利益合計</b>	<b>2,380</b>	<b>236</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産処分損	175	198
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	—	67
<b>特別損失合計</b>	<b>175</b>	<b>277</b>
税金等調整前四半期純利益	18,306	13,304
法人税等	5,007	3,630
<b>四半期純利益</b>	<b>13,299</b>	<b>9,674</b>
非支配株主に帰属する四半期純利益	286	211
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,012	9,462

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	13,299	9,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,282	22,378
為替換算調整勘定	3,190	2,075
退職給付に係る調整額	△236	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	487	1,152
その他の包括利益合計	△4,841	25,585
四半期包括利益	8,457	35,259
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,024	34,890
非支配株主に係る四半期包括利益	432	369

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18,306	13,304
減価償却費	7,766	7,721
引当金の増減額 (△は減少)	19	△4
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	344	△37
受取利息及び受取配当金	△2,989	△2,553
支払利息	247	280
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△11
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	67
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,658	4,220
販売用不動産の増減額 (△は増加)	350	△409
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,777	△2,517
預り金の増減額 (△は減少)	479	1,776
その他	△3,571	127
小計	16,517	21,964
利息及び配当金の受取額	3,658	3,541
利息の支払額	△243	△277
法人税等の支払額	△4,789	△7,379
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,143	17,848
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△12,260	△9,598
固定資産の売却による収入	1,074	115
投資有価証券の取得による支出	△9,493	△8,336
投資有価証券の売却による収入	38	116
その他	△174	△354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,815	△18,057
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増減額 (△は減少)	8,905	17,277
自己株式の取得による支出	△5,318	△2,610
配当金の支払額	△3,325	△3,828
その他	△836	△789
財務活動によるキャッシュ・フロー	△574	10,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,379	952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,867	10,792
現金及び現金同等物の期首残高	52,505	62,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,638	73,090

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年7月31日開催の取締役会決議に基づき、当第2四半期連結累計期間において普通株式676,600株、2,602百万円の自己株式を取得しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	14,730	—	14,730	—	14,730
倉庫荷役料	10,400	—	10,400	—	10,400
陸上運送料	25,836	—	25,836	—	25,836
港湾荷役料	9,170	—	9,170	—	9,170
国際運送取扱料	62,954	—	62,954	—	62,954
不動産賃貸料	121	4,143	4,264	—	4,264
その他	11,154	3,328	14,483	—	14,483
顧客との契約から生じる 収益	134,367	7,472	141,840	—	141,840
その他の収益(注) 3	1,713	10,712	12,426	—	12,426
外部顧客に対する営業収益	136,081	18,184	154,266	—	154,266
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	346	394	740	△740	—
計	136,428	18,579	155,007	△740	154,266
セグメント利益	9,575	4,962	14,538	△2,809	11,728

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,809百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,811百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
倉庫保管料	15,972	—	15,972	—	15,972
倉庫荷役料	10,470	—	10,470	—	10,470
陸上運送料	25,335	—	25,335	—	25,335
港湾荷役料	9,372	—	9,372	—	9,372
国際運送取扱料	34,810	—	34,810	—	34,810
不動産賃貸料	117	3,885	4,003	—	4,003
その他	10,984	1,701	12,685	—	12,685
顧客との契約から生じる 収益	107,064	5,587	112,651	—	112,651
その他の収益(注) 3	1,642	11,465	13,108	—	13,108
外部顧客に対する営業収益	108,707	17,052	125,760	—	125,760
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	379	401	781	△781	—
計	109,086	17,454	126,541	△781	125,760
セグメント利益	7,935	5,140	13,075	△3,154	9,920

(注) 1 セグメント利益の調整額△3,154百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,158百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等である。

(重要な後発事象)

(医薬品・ヘルスケア物流並びに米国政府機関向け物流を提供する米国及び英国物流会社の株式取得)

当社は、2023年4月28日、医薬品・ヘルスケア物流並びに米国政府機関向け物流を提供する、米国のCavalier Logistics Management II, Inc.、Cavalier International Air Freight, Inc.、DC Dyna, Inc.、及び英国のCavalier Logistics U.K. Limited.の4社(以下「Cavalier Logisticsグループ」という。)の株式を当社が新たに米国に設立したProject Hermes Holding Company(以下「Holding Company」という。)を通じて取得するために株式譲渡契約を締結し、2023年10月2日、Holding Companyが現金を対価としてCavalier Logisticsグループの発行済株式総数の90%相当を取得し、Holding Companyの10%相当の新株を対価として残る10%相当に係るCavalier Logisticsグループ株式の現物出資を受けたことで、Cavalier Logisticsグループの合計発行済株式のすべてを取得しました。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	Cavalier Logistics Management II, Inc. Cavalier International Air Freight, Inc. DC Dyna, Inc. Cavalier Logistics U.K. Limited.
事業の内容	管理業務、物流業務

(2) 企業結合を行った主な理由

Cavalier Logisticsグループは、米国及び英国内で主にバイオ医薬品、ヘルスケア等一般企業向け並びに米国政府機関向けのロジスティクスソリューションに特化した高度なサプライチェーンを構築し、近年業績を伸ばしている物流企業であり、長年当社の米国拠点に於けるパートナーとして良好な関係を築いています。また、当社は長期ビジョンである「MLC2030ビジョン」の戦略に則り、米国・欧州における医療・ヘルスケア物流の事業拡大を図ることとしており、Cavalier Logisticsグループを傘下に収めて基盤を構築することで、日米欧一体で営業を行う体制を築くことができます。

米国では最先端の研究や治療が多数行われており、グローバルな医薬品市場に比べ、今後も高い成長を続けるものと見込まれています。その様な市場において、お客様に高品質なロジスティクスサービスを提供し、更には様々な社会課題の解決に貢献することで、当社グループの医療・ヘルスケア物流におけるプレゼンスを高めていきます。

(3) 企業結合日

2023年10月2日

(4) 結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

(5) 取得する議決権比率

当社が議決権比率90%を有するHolding Companyを通じて、100%の議決権を取得しております。

(6) 取得企業を決定するに至った根拠

Holding Companyが現金を対価としてCavalier Logisticsグループの発行済株式総数の90%相当を取得し、Holding Companyの10%相当の新株を対価として残る10%相当に係るCavalier Logisticsグループ株式の現物出資を受けたことで、Cavalier Logisticsグループの合計発行済株式のすべてを取得したため。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	21,675百万円
取得の対価	現物出資により企業結合日に取得した株式の時価	2,542百万円
取得原価		24,218百万円

なお、取得の対価の一部が未確定であるため、暫定的な金額であります。

3 主要な取得関連費用の内訳及び金額

現時点では確定しておりません。

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び期間

現時点では確定しておりません。

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(投資有価証券の売却)

当社は、2023年10月31日開催の取締役会において、保有株式の一部を売却することを決議しました。詳細については、本日公表の「投資有価証券の売却についてのお知らせ」をご参照ください。